

「北海道グローバル戦略」の展開 ～JICA北海道の取組～

2024年4月19日

独立行政法人 国際協力機構
北海道センター（札幌）



国際協力の担い手向け 支援メニュー



◆事業の目的

開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に
貢献する

	支援メニュー	実施期間	総額	対象
1	JICA基金活用事業	1年	100万円	NGO/NPO、任意団体
2	NGO等提案プログラム	3年	1,500万円	NGO/NPO、公益法人、 大学、地方公共団体等
3	草の根技術協力	3年	1,000万円～1億円	NGO/NPO、地方公共団 体、大学、企業等
4	中小企業・SDGsビジネス 支援事業	8ヵ月～4年	1,000万円～1億円	中小企業、中堅企業、 大企業、非営利法人等

支援メニュー	実施期間	総額	対象
1 JICA基金活用事業	1年	100万円	NGO/NPO、任意団体

■ 対象となる団体

NGO/NPO、一般社団法人、
一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人、
法人格を有しない任意団体

■ 対象となる事業

- ✓ 開発途上国の人びとの貧困削減や生活改善に貢献する事業
- ✓ 日本の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業

2023年度より追加

寄附金を活用いただく事業



寄附で 世界を つなぐ。

— 開発途上国、そして日本のために —



SDGs 達成への
貢献

JICAが目指す、開発途上国が抱える開発課題の解決に向けた取り組みを、寄附によってさらに拡大していきます。





社会課題に取り組む
若者の活動支援

開発途上国の最前線や帰国後に国内で活動するJICA海外協力隊員とそのOB・OGの活動を寄附を活用して支援します。



日本国内の
地域づくりへの貢献

外国人材の適正な受入れや共生社会の実現に向けて、寄附を活用し、多様性に富んだ活力ある地域づくりを促進します。

寄附を通じて、
国際協力に参加しませんか。

★ ポイント

- 伴奏者支援制度を整備
- 1団体2回まで採択可能
- 他の支援メニューと比較して競争率が低い



採択年度	応募総数	採択案件	採択倍率(応募/採択)
2023年度	52件	36件	1.4
2022年度	通常枠:11件	通常枠:5件	通常枠:2.2
	チャレンジ枠:7件	チャレンジ枠:5件	チャレンジ枠:1.4
2021年度	通常枠:12件	通常枠:8件	通常枠:1.5
	チャレンジ枠:9件	チャレンジ枠:8件	チャレンジ枠:1.1

- 提案時の記載項目：団体概要、提案事業内容、実施体制、事業経費
- 応募締切：2024年4月25日

世界の人々のための JICA基金活用事業



道内5つのサテライト会場を繋ぐ



北海道内で日本語を学べる教室がまとめられたMAP、登壇者のネームカード

★ 活動の成果

- 「自分に何かできることはないか」、「自分もボランティアを始めたい」という相談
- シンポジウムを契機に新たな活動が始まった

	支援メニュー	実施期間	総額	対象（NGO等）
2	NGO等提案プログラム	3年	1,500万円	NGO/NPO、公益法人、大学、地方公共団体等

■ 対象となる事業

- ✓ NGO等の組織基盤強化に資するもの
- ✓ NGO等の国際協力事業実施能力向上に資するもの
- ※多文化共生社会の推進や外国人材受入活動も国際協力事業に含む

■ 2023年度採択数 5件（応募総数15件）

「外国人の社会参画支援を目指した自走可能な地域コミュニティ形成のための基盤構築」

実施団体：一般社団法人北海道多文化共生NET

内容：外国人が参画できる地域コミュニティの形成を目的とし、他の地域でも活用できるコミュニティづくりの実践手引きを作成し導入していく

開発途上国の住民を対象として、その地域の経済及び社会の開発または復興に協力することを目的とした国際協力活動

	支援メニュー	実施期間	総額	対象
3	草の根技術協力	3年	1,000万円～1億円	NGO/NPO、地方公共団体、大学、企業等

■ 外国人材受入・活躍支援枠

- ・ 開発途上国からの労働者の適正な受入れ
- ・ 労働者の当該国・日本国内の活躍の促進に向けた
 - ①政策・制度の整備・運用、
 - ②人材育成、
 - ③組織的・人的ネットワーク構築・強化を重視する提案

■ 外国人材受入・活躍支援枠 2023年度採択案件（支援型）

案件名：ネパール国 高齢化社会到来に向けた高齢者ケア体制の整備

実施団体：社会福祉法人 名寄市社会福祉事業団

<プロジェクト目標>

カトマンズ市内の施設や対象地域において適切な高齢者ケアが実施される

<期待される成果>

1. ネパール社会において高齢者の特性やそのケアについての認識が高まる
2. 技術と知識を備えた高齢者ケアスタッフが養成される
3. 対象村落において、住民が高齢者ケアを地域の課題としてとらえるようになる

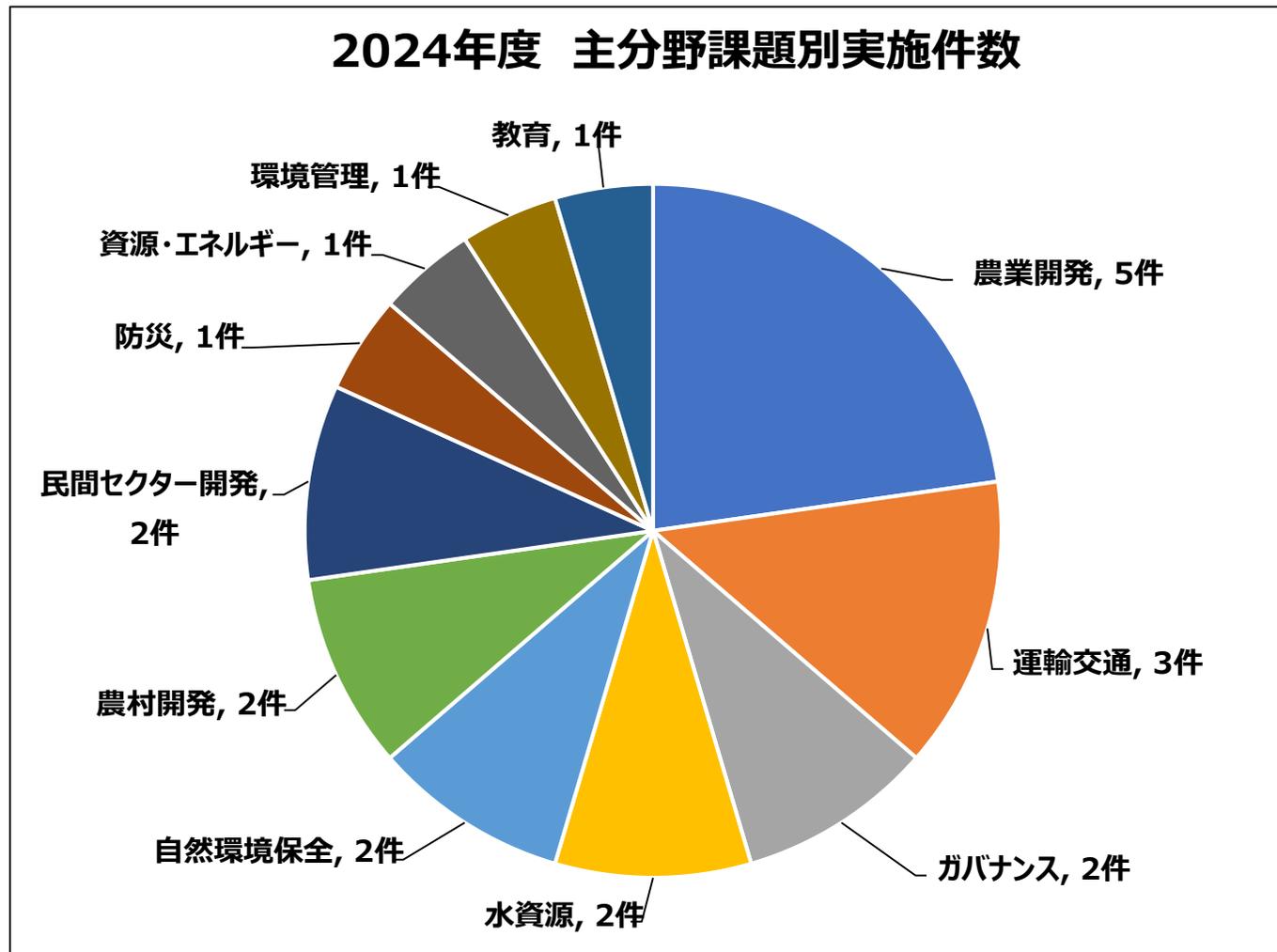
案件数と受入人数(予定) ※1年以上滞在する長期研修員を除く

362人 2023年度比 +1人

内訳

		(前年度比)	(前年度比)	
課題別研修	22件	(-3)	219人	(-5) ※国別上乗せ含む
国別研修	24件		103人	(-2)
青年研修	2件	(-1)	34人	(+8)
日系社会研修	3件	(-3)	6人	(-)

課題別研修22件の分布



地域理解プログラムの実施 (長期研修員対象)



•長期研修員を対象とした地域理解プログラム(2023年度実績)

目的:大雪山国立公園と上川町を事例とし、持続可能な地域振興と観光開発を学ぶ。

内容: ①北海道大学教授による講義 ②上川町役場による講義



③上川高校での相互学習



④黒岳登山



2024年度も北海道について理解を深める同様のプログラムを企画中!